

AIが全てを変える。



全日本電設資材卸業協同組合連合会
会長 若林 邦彦

本年度もいよいよ決算月を迎え

ました。一年の速さを感じずにはおれ
ません。大企業にとつての未曾有の
好決算が毎日のように報じられてお
ります。加えて、一時高まった製造
業の海外移転が新興国の低賃金だけ
のインセンティブでは意味が無くな
り、ITによる生産性革命で国内製
造業の生産工程が国内立地の可能性
を高めつつあることも明るい社会変
革と言えます。その反面、今顕在化
している少子高齢化による労働人口
の減少が大きくコストプッシュと労
働資源不足として立ちはだかつてき
ております。将に今の状況は戦後の
高度成長期に経済の爆発的な発展
により生じた労働者不足、それに伴
う高賃金のハイプレッシャーの中
で戦ってきた当時の会社経営と同じ状
況を再現しているとも言えます。当
時の工業界は生産性の高い機械の導
入、そして生産工程のバラツキ排除
のための外製化を推進しました。そ
してその事が必然的に生み出した製
造業全体の高品質化の達成でした。
その努力が戦後の日本の復興を成し
遂げ、世界第二のGDPを誇る原動

力になったのです。

戦後の成功体験に埋没し、脱出出
来ない現下の経済低迷、それを打ち
破る好機の到来と捉えることが前向
きな経営者の姿ではないでしよ
うか。そこで打ち出されたのが政府
の「働き方改革」です。労働時間の
短縮のみに議論が集中している傾向
がございしますが、本来の目的は日本
の非製造部門や後方支援部門の労働
生産性が欧米先進国と比較して30
40%低いと言われている状況を改革
する事が目的であります。今AI革
命が始まりつつあります。その中で
今一番注目されているのがRPA..
ロボティック・プロセス・オートメ
ーションです。オフィスの生産性を
高めるロボットと言われ、パソコン
上の単純作業が95%のユーザーで50
%の削減効果があったと報告されて
おります。我々の様な卸売業の業界
には単純な重複作業が多く存在しま
す。例えば見積書作成は最たるもの
です。今迄に作られた見積もりの蓄
積を活用することにより、短時間
で精度の高い見積もりを作るアシス
トをしてくれます。このことで分か

るようにAIの活用を積極的に進

めることがローコスト、そして短時
間労働を実現し生き残るためのMU
STと言えます。AIは双刃の剣と
言われ、良い面では日本のGDPを
50兆円拡大するであろうと予測され
ていますが、AIによって職を失う
人も、「機械に代替される職業」も
拡大することは確実に存在します。
AIの特徴として、
1・AIは疲れない(24時間働く)。
2・データがデータを生み出し、知
的に永遠に成長を続けられる。
3・一対一の人間と違い、無限大の
相手と同時に対応できる。
4・機械と機械が対話し、学習し成
長する。等、
非常に大きな未来を有しておりま
す。日本は今迄に作り出してきた製
品や技術の蓄積は世界でも屈指の実
績がございます。その上にAIの積
極的な活用を生み出せば、新たな
GDP大国に生まれ変わることが出
来ると確信いたします。全日電材連
もこのチャンスを最大限活用し、次
世代のリーディング・カンパニーに
成長していきましょう。